

新年のごあいさつ

一般社団法人九州経済連合会 会長 倉富 純男 … 1

九経連活動報告

企業の農業参入・連携促進に向けた取り組みや今後の課題について議論

農業活性化に向けた企業タイアップセミナー … 2

強靱で活力溢れる地域の創生に向けて、提言・要望活動を実施

西日本経済協議会 … 3

日誌(11月) … 4

倉富純男会長をTEAM FUKUOKA新会長に選任～企業・団体の熱意を福岡からオール九州へ～

国際金融機能誘致 TEAM FUKUOKA総会 … 7

九州とベルギーの関係強化へ向けたセミナーと交流会を開催

九州×ベルギー ハイレベルディナー … 7

講演要旨

みんなで考えよう!!明日のエネルギーと原子力～「原子力の日」講演会～

気象予報士 気象環境研究所 主任研究員 村山 貢司

(一財)日本エネルギー経済研究所 原子力グループ マネージャー 村上 朋子 … 8

ベトナム・九州間の関係強化促進～新型コロナウイルス感染症パンデミックとその後～

在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館 ヴー・ビン 総領事 … 9

寄稿

九州大、長崎県立大における社会人向け情報セキュリティリカレント教育について(enPiT ProSec等の取り組み)

九州大学 サイバーセキュリティセンター 学術研究員 藤岡福資郎

長崎県立大学 情報システム学部 情報セキュリティ学科 教授 山口 文彦 … 10

会員紹介

公益財団法人国際労務管理財団 … 14

アグリプロ株式会社 … 15

株式会社日商保 … 16

沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～ 沖縄こどもの国 … 17

九州観光推進機構ニュース

第1回観光地域づくり法人九州連携会議を開催しました

旅行者に人気のモデルコース

～⑦ 福岡・別府・大分ゆったり&くつろぎ満喫コース～ … 18

九州・山口地域動向

… 20

表紙説明・スケジュール(1月)

… 23



新年のごあいさつ

一般社団法人 九州経済連合会

会長 倉富 純男

皆様あけましておめでとうございます。
まず、新型コロナウイルス感染症により事業などに影響を受けておられる方々に、心よりお見舞い申し上げます。

コロナとの戦いはまだまだ予断を許さない状況ではありますが、この1年半の経験によりワクチン接種等でウイルスを抑え込むことが十分に可能であることがわかりました。本年こそ、ワクチン・検査パッケージを活用するなどの対策によって、経済回復がさらに加速する、明るい年にせねばと考えています。秋頃には、待望の西九州新幹線開業が予定されており、多くの人々が利用することで往來の活発化が期待できます。また、一極集中からの分散化やデジタル化の加速、さらにはサプライチェーンの寸断による日本回帰といった大きな変革の流れがあることも九州にとって追い風です。これらを活かし、まずは人の移動を活性化することが、交通事業者として初めて九経連会長となった私の一番の役割だと考えています。

岸田内閣の成長戦略では、世界的に進展するDX、GXの推進に重点が置かれています。今後、研究開発等への大胆な投資やデジタル化の実装を地方でも進めることが想定されており、九州にも大きなチャンスが到来します。

九経連では、昨年11月に九州DX推進コンソーシアムを立ち上げました。産学官が連携し、地域人材のリカレントと、各種スマートサービスの実装を両輪で進めていきます。新しい技術で九州の暮らしやすさ、幸せコミュニティを実現し、国の「デジタル田園都市国家構想」の代表事例を、九州から示していきたいと思えます。

また、デジタル化に必要な半導体の供給が世界的に不足する中、半導体受託製造で世界最大手企業の熊本県への新工場建設が決まりました。今後、先端半導体を九州から国内外に供給することが可能となります。九経連では、九州のリーディング産業である半導体産業を起点とした製造業全般の活性化に取り組んでいきます。

世界的にカーボンニュートラルが大きくクローズアップされる中、GXに向けて今後地方でも再生可能エネルギー等への投資を活発化する必要があります。九経連では九州における

ESG投資・グリーン調達拡大へ向け、金融機関やESG情報開示を目指す地元経済界の方々へ活動を進めていきます。

本年はインバウンドやアウトバウンドが徐々に再開していくものと期待しています。九州・沖縄・山口の各県知事と経済団体が一堂に会する九州地域戦略会議では、2023年に自転車レースの国際大会「ツール・ド・九州」と九州周遊のサイクルツーリズム「ディスカバー九州」の初開催を目指しています。コロナからの復活やSDGsのシンボルとして九州を世界へ発信し、数十億円規模への経済効果の最大化を図るなど、九州一体で取り組んでいきます。ご参画いただける企業の皆様にとっても、ビジネスチャンスが期待できる大規模なイベントとなります。

交流人口の拡大や、地方への経済効果の大きいIR（カジノを含む統合型リゾート）誘致に向けては、昨年4月に九州IR推進協議会を立ち上げました。国内で3カ所程度とされる区域認定を本年後半に控え、誘致活動はもちろん、地元調達確保や九州全域の魅力発信に官民連携して取り組んでいきます。

農林水産物・食品の輸出強化にも引き続き力を入れていきます。アジア市場の開拓へ向け、中国国際輸入博覧会への九州各県共同出展などを通じて九州産品を売り込み、生産者の収入増加、成長産業化を図っていきます。

ありがたい将来へ向けて九州が持つ多くの可能性をどれだけ伸ばせるか、地方への関心が高まっている今が勝負です。九経連では、今年の創立60周年を機に『九州将来ビジョン2030』をとりまとめました。九州にいれば自分の思いを実現できる、やってみよう！という雰囲気を作っていく、九州をそんな場にすることが「心の豊かさ」につながり、結果として九州の持続的な経済成長にもつながると考えています。

日本経済が伸び悩む中、「アジアの中の九州」というマクロの視点で、九州から改革・イノベーションをいかに起こすか、会員の皆様と知恵を絞りながら「こういうモデルが九州にはある！」というものを、九経連・九州がワンチームとなって、全国に示していきたい、挑戦の風を九州から吹かせ、日本を元気にしていきたいと思えます。会員の皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

企業の農業参入・連携促進に向けた取り組みや今後の課題について議論

と き 10月26日(火)

ところ Web開催

出席者 110名

農業活性化に向けた企業タイアップセミナー
(共催：日本経済団体連合会、九経連)

九経連(農林水産委員会)は、日本経済団体連合会(経団連、十倉雅和会長)と協働し、昨年引き続き標記セミナーを開催。企業による農業参入をはじめとする経済界と農業界のタイアップを促進し農業の活性化を図るため、農業参入がビジネスや地域をどう変えていくか等について参入企業、自治体の視点から議論を行った。

経団連の佐藤康博副会長・農業活性化委員長による主催者挨拶の後、「地域・農業の活性化に向けて～企業による農業参入の展望～」をテーマに、パネルディスカッションを行った(登壇者、発言要旨は以下のとおり)。

コーディネーター

三輪泰史 (株)日本総合研究所創発戦略センター エクスパート

パネリスト

林田安弘 西日本鉄道(株)新領域事業開発部長
兼NJアグリサポート(株)代表取締役社長

及川智正 (株)農業総合研究所代表取締役会長CEO

藤原博文 大分県 新規就業・経営体支援課長

■参入企業・自治体の取り組み

(西鉄) 就農人口の増加による沿線の地域活性化、農業生産基盤の維持拡大・生産者所得向上を目的に、JA全農と共同出資で「NJアグリサポート」を設立、農業に参入した。

- ・いちご就農者の減少に危機感を感じたJAからの相談が事業の始まり。いちご農園では研修生を受け入れ、JAの生産技術等の指導の下、新規就農者の育成を目指している。

- ・いちごやトマトを栽培し、グループ連携の強みを活かし、西鉄ストア等で販売している。

(大分県) 農業者の高齢化や中山間地域が多く大規模経営体が少ないこと、県に工場誘致のノウハウがあったことから、2007年より専任部署を設け、企業の農業参入を支援。

- ・参入企業はこれまで317社。遊休農地の解消や雇用創出、地域経済への影響等メリットが多く、担い手として期待されている。

- ・農産品の販売では、多くの企業がJA部会の一員として一緒に取り組んでいる。大分県域で生産可能な品目は、戦略品目に選定し重点的に支援している。

(農総研) 産直流通のリーディングカンパニー。事業内容は、農家の直売所事業と産直卸事業。全国94拠点の集荷場で集荷した農家直送商品をスーパーマーケットの全ての青果売場に提

供している。

- ・全国約1万人の生産者と都市部中心の約2,000店のスーパーマーケットをITでつなぎ、情報・物流・決済のプラットフォームを構築。

- ・物流の拠点づくりでは、①自社で広げる②地元の会社と提携して集荷をお願いするの2つがあるが、実績を上げることが大事。

■スマート農業技術の活用や課題

(西鉄) 環境制御型ハウスを使用。小規模農業での導入は採算的に厳しいが、地域貢献のため、スマート農業加速化実証プロジェクトの実証圃場として活用いただいている。

(大分県) スマート農業技術の機器、装備コストがまだまだ高いというのが課題。

(農総研) スマート農業を生産の部分だけで考えてはいけない。売り上げ向上につながるところまで含めてみていくべきである。

■農業参入×SDGs

(大分県) 有機農業の生産領域では、採算に合わないものが多いが、販売面で売り先を確保して生産するというのが非常に重要。

(農総研) フードロスの観点で、食べる量から生産量を決め、多くできた時は輸出や加工等を行い、流通に流さない、もっと食べてもらうような仕組みを作ることが大切。

(西鉄) SDGsのためというより、地元高齢者の雇用等、農業にしっかり取り組んでいくうちに結果的にSDGsにつながると思う。

パネルディスカッションの後、企業の農業参入の状況や支援体制等について、宮崎県、熊本県よりプレゼンテーションを行った。

最後に、九経連の平野巨也副会長・農林水産委員長による挨拶の後、閉会となった。

九経連では今後も引き続き、関係先と共に農業の振興に資する事業活動に取り組んでいく。

【農林水産部 中山】

強靱で活力溢れる地域の創生に向けて、提言・要望活動を実施

と き 11月17日(水)

ところ 東京都・首相官邸、関係省庁、自由民主党

出席者 12名

西日本経済協議会

西日本経済協議会第63回総会(10月20日(水)、熊本市で開催)決議提言書について、6経済連合会(中部、北陸、関西、中国、四国、九州)の会長・専務理事が、政府・与党に対して共同で提言・要望活動を実施した。

(訪問先・面談者)

・首相官邸	内閣官房長官	松野 博一 氏
・内閣府	経済財政政策担当大臣	山際大志郎 氏
	地方創生担当大臣	野田 聖子 氏
・財務省	財務大臣	鈴木 俊一 氏
・経済産業省	経済産業大臣政務官	岩田 和親 氏
・国土交通省	国土交通大臣政務官	加藤 鮎子 氏
・デジタル庁	デジタル大臣政務官	山田 太郎 氏
・自由民主党	幹事長代行	梶山 弘志 氏
	総務会長	福田 達夫 氏
	政務調査会長	高市 早苗 氏

各訪問先では、今年度の幹事である九経連の倉富純男会長による総括的な説明の後、各地域経済連合会の代表者が地域の取り組みを踏まえた国への提言・要望について具体的に発言し、意見交換を行った。以下はその要旨である。

〔各経済連合会からの発言〕

- ・コロナ禍からの社会経済活動回復に向けた事業継続や雇用維持のための措置を引き続きお願いするとともに、行動制限緩和に関し、より大きな効果を得るため対象範囲を都道府県単位でなく地域エリア単位にする等、地域の実情に応じた対応をお願いしたい。
- ・岸田政権が掲げる「デジタル田園都市国家構想」は、地方創生に連動する地方部と都市部では位置付けや取り組み内容が違うと思うが、具現化の道筋を明確にして推進を図ってほしい。
- ・カーボンニュートラルについては、再エネの推進だけでなく原子力発電の活用もお願いしたい。

〔要望先からの発言〕

- ・今度の経済対策に、コロナ対策をはじめグリーン、デジタル、地方活性化、子ども・子育て、国土強靱化など、提言書に記載の

あるものはほぼ織り込んでいる。経済活動緩和については県、地域ブロック、全国どの単位で実施するのか、コロナの感染状況に応じて柔軟に対応できる体制を整え、取り組んでいく。

- ・デジタル化は、重点計画の中で国、県、市区町村の役割整理と、広域のプラットフォーム整備が必要。その上で、地域の取り組みについては都市型の発想にならず、地域の実態に即した検討を行いたい。
- ・エネルギー問題はS+3Eを原則として進めていくことは言うまでもない。原子力再稼働、水素活用、カーボンリサイクルなどのさまざまな取り組みもしっかり進めていく。



松野博一
内閣官房長官



鈴木俊一
財務大臣



高市早苗
自由民主党
政務調査会長

【地域政策部 立山】

4日(木) [福岡市・西鉄グランドホテル]
TEAM FUKUOKA総会

※本誌7ページに詳細を掲載

5日(金) [長崎市・長崎県庁(Web併催)]
九州IR推進協議会第3回九州観光周遊WG
出席者:27名

まず、事務局より第2回WG以降に行われたコアメンバーによる協議状況の説明を行った。次に、IR事業者側関係者から区域整備計画素案のうち、送客数の目標設定および送客施設のパートについて説明があった後、活発な意見交換が行われた。事業者側は送客数の修正と最終とりまとめまでのさらなる計画のブラッシュアップを表明した。

なお、今後のWG活動については「区域認定を見据え、九州・長崎IRを核とした広域周遊観光の具体化について」協議していく方向性となった。

6日(土) [福岡市・九経連会議室(Web併催)]
九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト二次審査
出席者:80名

ベンチャー起業を目指す学生がビジネスプランで競い合う、第21回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテストの二次審査が、本会にて開催された。

54プランの中で26プランが一次書類審査を突破、今回もオンラインで学生と会場をつなぐ一方、審査はリアルで実施された。事前に「ビジネスプラン作成講座」を行ったため、各プランともブラッシュアップされており、甲乙つけがたい発表であった。審査の結果、IT、技術など多岐にわたる分野において、8大学・1高専の計10プランが最終審査会(12月18日開催)へと進んだ。

9日(火) [福岡市・九経連会議室(Web併催)]
ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会
第3回企画部会/第2回九州企業GGI検討WG
出席者:16名

今年度2回目となるWGでは、(公財)九州経済調査協会が作成した「九州ジェンダーギャップ指数(案)」をもとに、よりジェンダーにおける現状を反映した指数にすべく議論を展開した。今回の議論内容を踏まえて指数をリバイスし、年度内の発表を予定している。

同指数によって日本における九州の立ち位置、強み・弱みが「見える化」され、女性活躍の阻害要因の明確化、その後の課題解決につながることを期待される。

※次号(2月号)にて詳細を掲載予定

9日(火) [福岡市・九経連会議室(Web併催)]
行財政委員会第4回自立型広域経済圏モデル検討WG
出席者:11名

自立型広域経済圏モデル検討にあたり、まず前橋市の谷内田修未来政策課課長より「前橋市スーパーシティスマートシティ構想」についてご講演いただいた。次に、(株)一平ホールディングスの村岡浩司代表取締役より「ビジネス基点でのONE KYUSHUの取り組みについて」と題しご講演いただいた。

その後、これらを踏まえて、官民共創によるまちづくり推進上のポイントや、広域連携のあり方などについて活発な意見交換を行った。

9日(火) [東京都・自由民主党、財務省、国土交通省]
東九州自動車道建設促進提言活動
出席者:2名

東九州軸推進機構(会長:倉富純男九経連会長)と福岡・大分・宮崎・鹿児島県の4県および北九州市で組織する東九州自動車道建設促進協議会(会長:河野俊嗣宮崎県知事)は、東九州自動車道の建設促進に関する提言活動を行った。

自由民主党(梶山弘志幹事長代行)、財務省(矢野康治事務次官)、国土交通省(中山展宏国土交通副大臣)を訪問し、唯一事業化されていない南郷~奈留区間の早期事業化や宮崎・鹿児島間のミッシングリンクの解消、暫定2車線区間の4車線化などの要望を行った。

10日(水) [Web開催]
第2回K.P.C.ウェビナー~技能実習/特定技能/高度人材のリアル~
出席者:125名

コロナの状況下、九州とベトナム間の経済交流を進めていく中で、2020年11月にプレオープンした九州プロモーションセンター(KPC)の認知度向上を意識したウェビナーを、今年度は3回実施する予定である。第2回目となる今回のテーマは「人材」とし、「技能実習/特定技能/高度人材」に焦点を当てて開催した。

本会倉富純男会長による挨拶後、福岡出入国在留管理局より、コロナ禍における在留外国人の現状についてご講演いただいた。その後、ベトナムで人材教育を行っている企業、日本側の受入機関・企業等に登壇いただき、それぞれの立場からご意見をいただくパネルディスカッションを行った。第3回開催は2022年3月を予定。

12日(金) [Web開催]
「アフターコロナを見据えた九州域内の空港間連携について」ウェビナー
出席者:116名

コロナ感染拡大により、航空関連事業に甚大な影響が生じているが、ワクチン接種の拡大や治療薬の

開発等による収束を見据え、今後取り組むべき課題、オール九州での路線誘致や振興を促進する上で各県の空港間連携のあり方を考えるウェビナーを開催した。

(公社) 関西経済連合会の神田彰理事・地域連携部長より「関西3空港の一体運営の歴史と今後の展望～2025年大阪・関西万博に向けて～」と題してご講演いただいた。その後、慶應義塾大学の加藤一誠商学部教授と北九州市立大学大学院の幕亮二教授を加えてトークセッションが行われ、官民連携の重要性や、情報を共有化する上で経済団体の果たす役割等についてお話しいただいた。

12日(金)、13日(土) **[大分市・レンブラントホテル大分]**
九州デジタル経営塾in大分
出席者：39名

企業経営のデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組む経営層を対象とした「九州デジタル経営塾」に、大分県内の企業20社25名が参加し、2日間の合宿形式で開催した。

(株)グッデイの柳瀬隆志社長の講演「動かして学ぶデータ活用のポイント」に始まり、(株)DXパートナーズの村上和彰代表取締役と徳永美紗アドバイザーによるワークショップ「『顧客価値起点×デジタル』で皆さんのビジネスを再構築してみましょう!」の受講を通して、DXで実現を目指すデジタル経営の要諦のエッセンスを体験・習得した。

16日(火) **[熊本市・熊本城ホール(Web併催)]**
第19回環黄海経済・技術交流会議
出席者：約400名

九州・韓国・中国の環黄海地域における産学官交流プラットフォームである環黄海経済・技術交流会議が熊本市にて開催された。昨年度延期された本会議は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催以来初のハイブリッド形式にて実施した。

「感染症対応型ビジネス分野」「環境・エネルギー分野」「地域間交流分野」の3つのテーマについて、各国における技術・取り組みの紹介を行った。環黄海地域のビジネスチャンス拡大につながるヒントを得る機会となった。

※次号(2月号)にて詳細を掲載予定

16日(火)～18日(木) **[Web開催]**
九経連 スマート農業推進オンラインセミナー
出席者：延べ人数437名(登録者数)

今回、「スマート農業の取り組みの推進～稼げる農業の実現に向けて～」をテーマに、スマート農業の取り組み事例やソリューション等を紹介し、現場におけるさまざまな課題解決の一助となるよう、標記オンラインセミナーを3日間にわたり開催した。

最初に、農研機構の中谷誠副理事長より「スマー

ト農業技術の開発・実証の進展」と題して基調講演をいただいた。その後、県・大学・企業・団体より、17件の取り組み事例についてご講演いただいた。

講演内容は、より多くの方に視聴いただくため、録画してYouTubeで配信する。また、セミナーをご覧になり、ご関心のある方に向けた、相談希望先の県・大学・企業・団体との個別相談会を後日、別途開催することとしている。

17日(水) **[東京都・首相官邸、関係省庁、自由民主党]**
西日本経済協議会提言・要望活動

※本誌3ページ「活動報告」に詳細を掲載

18日(木) **[大分県九重町・八丁原発電所]**
九州エネルギー問題懇話会エネルギー施設見学会
出席者：19名

再生可能エネルギーの重要性が高まる中、わが国最大の地熱発電所である九州電力(株)八丁原発電所の見学会を開催した。

展示館で地熱発電のしくみや地熱開発の状況について説明を受けた後、地下深部の蒸気を利用した発電所を見学。見学後には活発な質疑応答が行われ、地熱発電の現状と今後の利用拡大に向けた課題について理解を深める機会となった。

18日(木) **[福岡市・ヒルトン福岡シーホーク]**
九州×ベルギー ハイレベルディナー

※本誌7ページに詳細を掲載

19日(金) **[福岡市・九経連会議室(Web併催)]**
「第4回KYUSHU NEXT」開催WG(第1回)
出席者：11名

2018年から続く「KYUSHU NEXT」を今年度も開催すべく、ワーキンググループの第1回会合を実施した。

これまで「女性活躍」「デジタル化」「地域成長」の3分科会でそれぞれ議論を展開してきたが、今年度はそれらの相互の関連性に着目し、女性活躍を大テーマに議論を展開していくこととなった。開催方法は現在の新型コロナウイルスの状況に鑑みてフルオンラインとするが、従来全員参加型の形式は踏襲し、「九州を動かす」べくさらに広がりを持たせることを念頭において議論を展開する。

22日(月) **[佐賀県基山町・基山町役場]**
第1回きやま地方創生モビリティ研究会
出席者：14名

九経連より基山町へ事務局を移管し、新体制となって初の研究会を開催。基山町は、経済産業省令和3年度「地域新MaaS創出推進事業」の先進パイロット地域として選定され、2022年1月8日～2月

4日までの約1カ月間、機能の異なる3つのモビリティ運行や貨客混載事業、運転免許証返納後の疑似体験イベント等の実証実験を行う。

第1回研究会では、実証実験における事業内容やKPIについてメンバーと共有の上、実証実験内容のほか、社会実装も見据えた議論を行った。

24日(水) [福岡市・九経連会議室]

九州女性の会11月例会

出席者：26名

当日は、今年度就任した吉留景子会長(㈱博多ステーションビル取締役事業推進部門長)による開会挨拶の後、(一社)すごい会議の石田一真すごい会議認定プロコーチより「どのようにすれば社長が動かず社員が主体的に動き売上が上がり続けるだろうか?」と題してご講演いただいた。

続いて、九州女性の会の役員改選に伴い2021～2022年度の会長に吉留氏、副会長に濱砂圭子氏(㈱フラウ社長)、青池美和氏(㈱内藤工務店社長)、安田瑞代氏(RKB毎日放送㈱取締役執行役員)の3名が就任したことを報告した。

25日(木) [福岡市・九経連会議室(Web併催)]

農林水産委員会林業部会第1回事業WG

出席者：52名

ウッドショックにより木材流通サプライチェーンの脆さが露呈し、この強化が喫緊の課題であることから、都市の木造・木質化事業を柱にサプライチェーン構築を推進している MEC Industry(株)の森下喜隆社長にご講演いただいた。同社概要・最新情報、ビジネスモデルやサプライチェーン構築に関する内容に、活発な質疑応答が交わされた。

その後、次年度の中央省庁への要望内容検討依頼について、スケジュールや修正手続等を審議し、10月の大分地区現場視察会と林業関係輸出実績の推移等の報告が行われた。

29日(月) [Web開催]

産業振興・デジタル推進委員会 中堅・中小企業生産性向上Webセミナー

出席者：235名(登録者数)

昨年引き続き、今年度も生産性向上Webセミナーを開催した。2回目となる今回のテーマは「トヨタ生産方式(TPS)の本質および中堅・中小企業の実産性向上」であった。

講演は、①トヨタ生産方式(TPS)によるものづくり力の向上～現地現物での人財育成～(講師：トヨタ自動車九州)②IoT活用による生産性向上事例～まず、自分達でやってみる!～(同：戸畑ターレット工作所、勝山工作所、北九州産業学術推進機構)③中小企業の実産性向上支援策(同：中小企業基盤整備機構)の3部構成とした。講演後のアンケートによると、

約7割の視聴者から高評価を得るとともに、9割近い方々から次回も参加したいという要請・要望があった。

30日(火) [福岡市・九経連会議室]

「九州DX推進コンソーシアム」設立

九州におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)を産学官金が一体となり推進する「九州DX推進コンソーシアム」を、九経連、九州大学、福岡県、デロイトトーマツグループの4者にて設立し、発起人(設立)総会を行った。今後、地域におけるデジタル人材の育成や、デジタル技術の活用による地域課題の解決と新たな産業の創造を推進し、持続可能な地域社会と経済発展の実現を目指す。

当日行われた記者会見で、倉富純男九経連会長が「九州将来ビジョン2030を実現し、さらなる九州発展のキーとなるのが『DX』である。産学官金ワンチームとなって、挑戦の風を九州から吹かせ、日本を元気にしていきたい」と述べた。

30日(火) [福岡市・Fukuoka Growth Next(Web併催)]

StartupGo!Go!2021

出席者：約600名

昨年に引き続きハイブリッドで開催された。今回もシード・アーリーステージのスタートアップが対象となる3分間のピッチコンテスト「ThePitch」が行われ、優勝賞金100万円を巡って熱い戦いが繰り広げられた。

国内27名、韓国他海外6名の登壇者が参加したセミファイナルを経て、6名のファイナリストに各賞が授与された。各企業、経済団体、VCからの審査により、九州を含む世界のスタートアップとのマッチングが期待される内容であった。また、ビジネスマッチングイベント「X-Tech Match up」も同時にオンラインにて開催された。

※次号(2月号)にて詳細を掲載予定

30日(火) [東京都・福扇華]

第3回九州応援団

出席者：9名

九州出身および九州での勤務経験のある中央官庁の幹部職員で構成する「九州応援団」の第3回会合を開催した。

倉富純男会長からの「国の成長戦略の代表事例となる九州モデルを示していきたい」との挨拶の後、事務局より「九州将来ビジョン2030」の実現に向けた直近の動きを報告し、意見交換を行った。

今後とも、定期的に会合を開催し、各省庁への相談窓口として適宜アドバイスをいただくこととしている。

倉富純男会長をTEAM FUKUOKA新会長に選任～企業・団体の熱意を福岡からオール九州へ～

と き 11月4日(木)
ところ 福岡市・西鉄グランドホテル
出席者 46名

国際金融機能誘致 TEAM FUKUOKA総会
事務局：福岡地域戦略推進協議会 (Fukuoka D.C.)

2020年9月に設立されたTEAM FUKUOKAは、福岡への国際金融機能の誘致に向けて、産学官の連携のもと「オール福岡」で活動を進めている。11月4日に開催された総会では、倉富純男九経連会長が新会長に選任され、麻生泰前会長(九経連名誉会長)は顧問に就任した。

次に、福岡が継続的にイノベーションを創出する国際都市となるべく、整理された課題に対する取り組み状況が報告された。わずか1年の間に「国際競争力のある制度の構築」「快適なビジネス環境の提供」「快適な生活環境の提供」「プロモーション活動の推進」の分野において各企業・団体によるさまざまな実績が積み上げられ、各企業・団体の熱意と、地域のまとまりの良さが感じられた。さらに倉富新会長からは、この動きを福岡からオール九州へ広げていくことについて提案があり、了承された。

新たに福岡に進出した企業は資産運用業に限らず、その進出を支える業種など多岐にわたり、進出企業によるプレゼンでは、TEAM FUKUOKAへの賛同と福岡に対する期待が示された。



【地域政策部 時里】

報道機関による取材の様子(下)

九州とベルギーの関係強化へ向けたセミナーと交流会を開催

と き 11月18日(木)
ところ 福岡市・ヒルトン福岡シーホーク
出席者 71名

九州×ベルギー ハイレベルディナー
(主催：駐日ベルギー大使館、共催：九経連)

経済・文化・学術などさまざまな分野での関係強化を目的に、「九州×ベルギー ハイレベルディナー」が福岡市で開催された。

はじめに、ロクサンヌ・ドゥ・ビルデルリング駐日ベルギー大使が「九州に多くのエネルギーとダイナミズムを感じた。ベルギーと多くの協力関係を築ける可能性がある」と挨拶。次に、九経連の麻生泰名誉会長が「ベルギーはヨーロッパのエントランス。アジアの玄関口である福岡と共通点がある。ベルギーを大いに勉強する機会としていただきたい」と挨拶。さらに、服部誠太郎福岡県知事が招待者を代表して「福岡県とベルギーの交流の可能性を大きく感じている。この機会を活用して大いに経済交流が生まれることを期待する」と挨拶した。

続いて、ベルギーの担当者が、「ヨーロッパの物流拠点」「AIへの取り組み」「ヨーロッパにおける都市づくり」の3つのテーマについてプロモーションを行った。その中で、日本で使われるファイザー社製のコロナワクチンは全てベルギーで製造・出荷されていることなどが紹介され、参加者は熱心に聞き入っていた。

その後、テーブルごとに、ベルギー側と九州側参加者の間で活発な意見交換が行われた。今後の協力関係強化が期待されるイベントとなった。



ドゥ・ビルデルリング大使挨拶



麻生名誉会長挨拶



服部福岡県知事挨拶



プレゼンテーション風景

【国際部 田邊】

みんなで考えよう!! 明日のエネルギーと原子力 ～「原子力の日」講演会～

(2021年10月19日(火))
九州エネルギー問題懇話会 エネルギー講演会での講演)



気象予報士
気象環境研究所主任研究員

村山 貢司



(一財)日本エネルギー経済研究所
原子力グループ マネージャー

村上 朋子

第1部 村山貢司氏講演

「地球温暖化と異常気象」

1980年代後半から気象災害が急激に増えている。この傾向は今後もさらに続き、もっとひどくなることが予想される。福岡でもここ数年毎年のように記録的な豪雨に襲われており、異常気象が当たり前になっている。災害の規模も拡大、洪水や土砂災害の危険度も高まっており、気象は危機的な状況にある。

2020年～2021年は世界的に異常な高温や少雨となり、大規模な山火事や干ばつが発生。農作物への被害も大きく食糧価格が高騰。イギリスでは広く高気圧に覆われて少雨となり、風がほとんど吹かずに風力発電量が減少し、エネルギー供給にも影響が出た。

豪雨の要因の一つは海水温の上昇による海水の蒸発量の増加。大量の水蒸気が前線とぶつかり大雨を降らせる。加えて台風やハリケーンを発達させる。

2100年日本の平均気温は全国で4.5℃、九州は4.1℃、北海道や東北は5℃近く上昇と予測。南北の温度差が小さくなると風が弱くなる。また、年間降水量が減少し豪雨が増え、水資源が慢性的に不足する。

温暖化対策は産業構造に変化をもたらす。例えば電気自動車への移行には自動車産業での雇用減少やガソリン税急減などの複合的な課題がある。また、家庭も含め大幅なCO₂削減目標が示されたが、石油、ガスなどの電気への転換を進めても目標達成は難しい。

温暖化による気象の変化で、風速、日射量、降雪量が減少し、風力、太陽光、水力発電への影響が懸念される。天候に大きく影響される再エネの拡大には、バックアップの火力や原子力が必要。気象面での不安が増す中、電力の安定供給に誰が責任をもち、どう取り組むか、国や関係機関をはじめ全体での議論が必要だ。

第2部 村上朋子氏講演

「カーボンニュートラルと 原子力の役割、課題と展望」

日本のエネルギー政策は「安定供給」「環境への適合」「経済性の確保」を基本とすることがエネルギー政策基本法(2002年)に定められている。中でも最優先の目標は「安定供給」で、原子力利用の目的もそこにあることは第1回原子力長期計画(1956年)に明記されている。日本のエネルギー需給の構造的な脆弱性と、それを補う原子力の重要性は福島事故以降も変わっていない。

第6次エネルギー基本計画は、気候変動への対応とエネルギー需給構造の抱える課題の克服を2つの大きな視点とし、2050年カーボンニュートラル実現への課題や2030年に向けた対応などが記載されている。再エネについては主力電源化に向けて取り組むとし、火力については初めて電源構成に占める比率の引き下げに言及した。

原子力については「可能な限り依存度を低減」「必要な規模を持続的に活用」と相矛盾する表現が用いられた。各論では革新技術開発や核燃料サイクル推進など施策が列挙されており、依存度を低減しつつ多くの施策が実現できるのか疑問だ。今回計画を議論した基本政策分科会においても、原子力については委員の間で意見の相違が大きく、コンセンサスは得られていない。

また、計画策定と並行して電源別発電コストの見直しも行われ、太陽光など再エネのコスト低減が確認されたが、電力システム全体でコストを捉えると電源の競争力は変わる。

2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略では、原子力分野の革新技術として高速炉や小型炉などが挙げられ、小型炉はアジアなどへの展開を目指すとしている。

ベトナム・九州間の関係強化促進 ～新型コロナウイルス感染症パンデミックとその後～

(2021年10月19日(火) 国際委員会企画部会での講演)



在福岡ベトナム社会主義
共和国総領事館

ヴー・ビン 総領事

◇日本・九州とベトナムの戦略的パートナーシップをさらに広めるために

ベトナムは日本より面積、人口ともに小さいが、国土の地形はS字型でよく似ており、世界で最も経済、技術が発展しているアメリカ、中国、日本があるインド洋・太平洋をつなぐ位置にある。ドイモイ政策から35年、継続的に経済は発展、人口構造も黄金期で、外国人投資家にとって魅力的な国である。政治的・社会的に安定し、マクロ的に良好な発展を続け、経済は頑強だという評価を受けている。

ベトナムは日本に学ぶところが多い。それは日本が世界第3位の経済大国であり、世界に誇る科学技術を持っているから。加えて日本の発展モデルを学ぶべきである。多くのベトナムの若者が日本に行って学ぼうとするのは、彼らの親たちに日本への信頼があるからである。

政治面において、日越は深い関係を続けている。両国の高い政治的信頼に基づくもので、1993年から現在まで、両国の首相レベルの訪問は、年1.5回とかなり多い。2020年に当時の菅義偉首相がベトナムを訪問して以来、コロナ禍でお互いの訪問は途絶えているが、2021年初めから共産党書記長、国家主席、首相、国会議長が、日本の首相や高官と5回の電話・オンライン会談を行っている。また、地方自治体レベルでは、40組以上の協力関係が締結されている。これらの関係が経済的、文化的、人的交流の基礎となっている。

経済面で特筆すべきは、2021年の困難な時期に日本だけが直接投資を増やしていることである。これは両国がwin-winの関係にあることを表し、日本の投資家がベトナムを信頼している表れである。また、貿易についても2021年の総貿易額は既に前年の80%に達しており、対前年比増加は間違いない。

もう一つ言及すべきは、在日ベトナム人数

で、日本における在日外国人数でベトナムは2位だが、九州においてベトナム人数は最も多い。安倍晋三元首相による在日ベトナム人に関する「両国共通の財産」との発言、九州経済国際化推進機構のトップの「日越関係は沈むことなく常に上向き」との発言は、両国が信頼しあい、価値観を共有し、長期的観点で協力関係を築いていく意思の表れと思う。

◇新型コロナウイルスの現在の状況

ベトナムでは、10月17日午後6時時点で64百万回分のワクチンを接種済みで、ホーチミンでは、人口の99%が1回目接種済み、2回目接種済みが16%。ベトナム政府は隔離から徐々に正常な状態に戻す方向性である。ベトナム政府トップは、数十回にわたり、海外の企業団体、経営者、商工会議所、そしてベトナム大企業のトップとコロナ解決策について意見交換を行ってきている。

◇九州との関係強化の主要課題

今後は、まず医療、ワクチン製造や医療設備の製造などについて協力していきたい。また、農業、工業、環境、科学技術について関係を強化したい。人的交流は、大学、大学院のレベルで学ぶ人を増やしたい。そのために、総領事館、九経連、KPCの組織を使って協力関係を強化することが考えられる。

◇九州プロモーションセンター (KPC)

KPCの機能をさらに拡大させて協力関係を強化したい。また、ベトナム国内でKPCのPR活動を行っていきたい。KPCでいろんなイベントを計画することで、人的な交流を増やしていくことができると思う。

◇最後に

決して少なくはない在日ベトナム人45万人と、日本との具体的な協力について、今後も九経連、九州経済国際化推進機構との話し合い、交流をさらに深めていきたい。

九州大、長崎県立大における社会人向け情報セキュリティリカレント教育について (enPiT ProSec等の取り組み)

九州大学 サイバーセキュリティセンター 学術研究員 藤岡福資郎
長崎県立大学 情報システム学部 情報セキュリティ学科 教授 山口 文彦

産業振興・デジタル推進委員会では、大学と連携したICT利活用人材育成に取り組んでいる。今回は、社会人向けの情報セキュリティリカレント教育を行っている九州大学と長崎県立大学より寄稿いただいた。

1. はじめに (紙とデジタル)

某医療機関の電子カルテがウイルス感染し、通常業務が長期停止するなど、デジタルの利便性は脆弱性と常に隣り合わせである。しかし、ログや暗号化により痕跡を残すことができ、さらに的確なセキュリティ対策を講じることにより被害を未然に防ぐことが可能である。反面、ファックス等に放置された重要書類や紙カルテは、暗号化できず、知らぬ間にコピーされても痕跡すら残らない。被害発生に気づくことも、被害を未然に防ぐことも困難であり、紙がデジタルよりセキュリティ上優れているとは言えそうにない。

2021年9月1日にデジタル庁が発足したが、同年6月末で全廃する予定だった霞が関のファックスは、各省庁から400件近い反対意見を受け、事実上断念した経緯がある。災害時は、手書きで誰もが活用できるメリットはあるが、実際の主な反対理由には、ハッキングなどサイバーセキュリティ上の懸念が挙げられた。これは、セキュリティに対する捉え方や考え方の違いから、業務の迅速化・的確化等のデジタルの恩恵やビジネスチャンスを組織が自ら逃した事例の一つである。

このような事例が日本全国で積み重なっているとすれば、その機会損失は、計り知れない。今求められる人財は「紙とデジタルの基本的な違いとメリット・デメリット」のような基本的で初歩的なボトルネックを見極める目利き力を持つ人財であり、自分たちが行いたいビジネスにおいて必要なサイバーセキュリティが担保された場合、どのような利点が生み出されるかを分かりやすく伝えることができ、現場も経営者も巻き込み、ビジネスと事業に必要なサイバーセキュリティを牽引する「牽引型のセキュリティ人財」と言える。

このような人財の育成に向け、九州大学サ

イバーセキュリティセンターでは、主に社会人の現役エンジニアを対象とした大学院レベルのサイバーセキュリティ教育プログラム「ProSec-IT (九大enPiT-Pro)」や、技術以外の側面であるルール形成戦略や経済安全保障等の分野にも着目した「SECKUN」を開講している。また、長崎県立大学では、在職のままの学びを促進する「昼夜開講制度」や「長期履修学生制度」を設け、2021年度は、情報セキュリティリスクマネジメント特論など6科目をenPiTに提供している。九州・山口の情報セキュリティ人財育成を支える九州大学および長崎県立大学の目的や意義、方向性について本稿で紹介する。

2. 機器導入(費用)でなく、人財育成(投資)視点こそがセキュリティの要諦

日本におけるサイバーセキュリティ対策については、情報技術や暗号技術などの技術的な側面が強く、サイバー攻撃に対する機器設備増強こそが「対策のためのコスト」であるという捉え方が主流となっている。また、近年、WAF、IPS/IDS、FW等のサイバーセキュリティ専用機器が存在しているため、そうした高価な機器を備え、運用できる最少人数の技術者を配置すればよいという捉え方も、株主資本主義の効率経営では、一見成り立ちそうに思える。そのような中で、社会人に向けて教育という人財育成「投資」をあえて行う意義は、何であろうか? 「守り」と「攻め」の両面から捉えてみたい。

第一に「守り」の側面から考えてみる。いつの時代でも機器や設備の導入だけを行っても万全の「守り」とはならない。情報漏えいの要因は約7割が紛失や誤操作、管理ミスなどの人的要因によるものであり、セキュリティホールやバグなどの技術的要因を大きく上回る。また、現在はテレワークなどにより、

環境も端末も多様化し、人的要因に関連する脅威がますます高まっている。

つまり経営層を巻き込んだ組織全体の啓発は、機器ではなく人財にしかできないため、「守り」の側面における教育投資が意義を持つのである。例えば、個人情報保護などのセキュリティ講習や標的型メール訓練の継続的な実施が挙げられる。特にクリックをした人物や組織を責めるのではなく、「気づきのポイント」の周知と「通報の協力」を促すスタンスで取り組めば、情報漏えいの危険行為を未然に予防し、漏えい発生時の連絡先・体制を周知・浸透でき、風通しのよい組織防衛文化を醸成できる。

漏えい事故により第三者に損害を与えた場合には経営責任を問われるが（会社法423条、426条）、取り組みを全く行っていない場合の経営責任は非常に重く、顧客離れや取引先喪失による業績への影響も甚大化する。将来的な株価や売上の回復可能性の著しい低下は想像に難くない。

ランサムウェア感染により、上場企業で財務諸表の報告ができない事例や地域中核医療機関の機能が停止した事例など取り返しのつかない信用失墜や、回復に数億円のコストを要した案件も生じている。リスクマネジメントの側面から人財への先行投資を実施することは、ステークホルダーとの良好な関係を構築し、危機から経営を守るために必須である。

第二に「攻め」の側面からは、ビジネスチャンスへの影響が挙げられる。サイバーセキュリティ基本法では「イノベーションの創出、経済社会の活力の向上」（第3条）が謳われているが、多様な働き方や円滑なコミュニケーションを推進可能なセキュリティを確保できる技術や文化を持つ組織と、そうでない組織では、業務効率だけでなく、新しい発想を生む風土などに大きな差が生まれる。機器の操作や判断を失敗しても事業が継続する壊れにくい組織（＝フェイルセーフで持続可能な組織）を作り出し、ビジネスやイノベーションを育むセキュリティを推進するのは、機器ではなく、他でもない人財である。

例えば、GDPR（EU一般データ保護規則）で採用されているプライバシーバイデザイン（PbD）などの「フェイルセーフな仕組み」を開発時に実装する手法は、ハンディキャップ

のある方や高齢者が仮に機器を「落としても」「なくしても」「間違った操作をしても」大丈夫な商品・サービス開発に応用できる。

また、個人情報保護法の目的には、「個人情報の適正かつ効果的な活用が新たな産業の創出並びに活力ある経済社会及び豊かな国民生活の実現に資するものであること」が謳われている。2020年の個人情報保護の改正で「仮名加工情報」が新設された。第三者提供は禁止されている（＝社内限定）が、一定の要件のもと利用目的の制限（法15条第2項）や漏えい等の報告等（法22条の2）、開示・利用停止などの請求対応（法27条から第34条）の義務が適用除外となる。機械学習の学習用データセットなど漏えいリスクを軽減しながら有用性を活かし応用が期待できる。

3. 九州大学における情報セキュリティリカレント教育

2021年、ProSec-IT（九大enPiT-Pro）の受講生は18名、SECKUNは、ProSec-ITの選択コースとして2021年度より5コースに再編、30名が全国からオンライン受講中である。コース選択方式（1コース年間6万円）に再編し目的に合う受講促進を図った。今年度は、ProSec-ITの文部科学省からの予算措置最終年度のため、来年度以降の自走体制（特別な予算措置無しに独自に事業を運営する体制）の構築も考慮に入れた。

(1)ProSec-IT（九大enPiT-Pro）

日本の情報産業の国際競争力を高め、第4次産業革命やSociety5.0として進展させるには、それらを牽引する人財育成が不可欠である。九州大学では教育と人財育成および社会貢献に関するミッションの一つとして、社会人エンジニアのサイバーセキュリティ技術の学び直しを目的とする大学院レベルの教育プログラム「ProSec-IT（九大enPiT-Pro）」を2018年から実施している。科目等履修生として単位取得が可能な履修証明プログラム（メインコース）であることに加え、文部科学省のBP認定を取得し、教育内容の品質を担保している。2020年までに合計63名の修了生を輩出した。修了生は、企業内だけでなく、地域の勉強会の講師を務める等、活発な交流を生む人財として活躍している。

メインコース年間約24万円、月換算約2万円で最新技術を体系的に学び直せる短期集中

型の教育プログラムである。最先端の研究成果に基づくオリジナル教材や実務家教員による社会人のニーズに根ざした多くの演習やグループワークが含まれており、新技術獲得や基盤知識の習得ができる低価格で高品質な教育プログラムを提供している。



図1. ProSec-IT (医療機関BCP体験型TTX)

具体的には、Webアプリケーションを代表とする情報システムの構築から、セキュアな運用、サイバー攻撃からの防御、実際にインシデント発生時の対応まで実践的に学べるカリキュラムである。さらに背景の理論や技術も深く学ぶことができる。

開発・運営は、情報セキュリティ大学院大学、長崎県立大学、慶應義塾大学、東北大学、大阪大学、和歌山大学、さまざまな機関、企業と連携、さらに新しいタイプのコミュニティを福岡県警や九経連を含む産官学で構築・運営している点が特徴である。

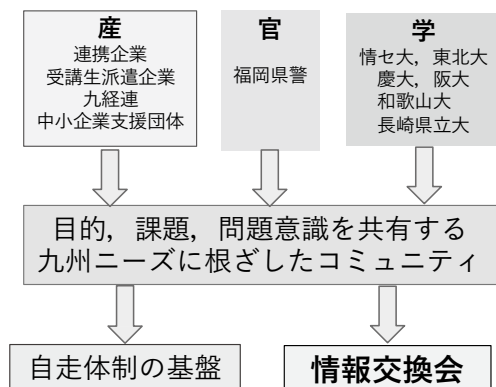


図2. ProSec-IT (開発運営イメージ図)

(2)SECKUN

2019年より厚生労働省の委託事業として戦略マネジメントの要素を付け加えた新しい教育プログラム「SECKUN」を開発。2020年に140時間の講義・演習の施行(無料)を実施し

た。受講生は、全国から86名が集まった。セキュリティエンジニアのほか、ユーザ企業のセキュリティ担当、裁判官、子育て中の女性エンジニア、起業家、投資家等多彩な背景を持つ67名が修了した。

世界の先端に留まり続ける技術者を育成する最先端の技術教育に加え、人間の脆弱性(心理学)、海外セキュリティ法則、メディア対応演習等も準備し、IT-BCPと組織全体のBCPとを総合的に担える人財育成を目指した。「サイバーセキュリティ技術調査科目群」では、先端的な技術者らが共通して持つ、最新技術の一次文献を自ら調査・理解して追試や応用能力の開発を主眼に置いた。

サイバーセキュリティ技術を広範囲に普遍的に扱うのは現実的ではないため、今後重要性を増す先端技術(=Moving Target Defense, Block Chainクラウドセキュリティアーキテクチャレベルの脆弱性)を選択し、技術調査の方法や追試、応用の在り方を例示した。受講者が自ら興味のある技術にも技術調査を適用できる応用力を育成、現在はProSec-IT Nextコースとして提供しているフェイルセーフな組織(=失敗しても壊れない組織)づくりに活かすリスクマネジメント、経済安全保障と新規ビジネス投資演習を「マネジメント科目群」として準備した。



図3. SECKUN (経済安全保障と新規ビジネス投資)

危機の現場で不動のリーダーシップ発揮に活かせるインテリジェンスや地政学、セキュリティ心理学、医療機関でのインシデント発生時を想定したBCP体験型机上演習を「ブリッジ科目群」として準備した。修了生や受講生は、自発的にオンラインコミュニティを構築し、イベントや勉強会、連携大学の教育プログラムへのグループ参加等、九州・山口から

全国へ活発な交流活動をしている。

「地域セキュリティ講演」や「新しいセキュリティビジネス・キャリアシンポジウム」(120名)、有識者を招きBCPや危機管理の公開講演会(無料)等も開催している。

4. 長崎県立大学における情報セキュリティリカレント教育

長崎県立大学は2020年4月に大学院の再編を行い、地域創生研究科という一つの研究科に地域社会マネジメント専攻・情報工学専攻・人間健康科学専攻の3専攻を設置している。本研究科では、学ぶ意欲を持つ社会人の方々を科目等履修生として受け入れている。こうした社会人のリカレント教育にあたり、在職のままでも学びやすくするため、夜間の受講も可能な「昼夜開講制度」および、標準修業年限を超えても教育課程を履修できる「長期履修学生制度」を設けている。

enPiT ProSecには、連携大学として参加しており、情報工学専攻情報セキュリティコースの科目のうちのいくつかを提供している。セキュリティ実践者・開発者向けに、情報システムを安全に開発・管理・運用することを実践するための基礎・原理を身につけることと、セキュリティを考慮した情報システムを構築することを可能とする技術・知識を身につけることを狙いとする教育プログラムとなっている。2021年度には、暗号数理特論・データセキュリティ特論・ソフトウェア開発プロセス特論・ネットワークセキュリティ特論・情報セキュリティリスクマネジメント特論・人工知能特論の6科目を提供した。これらのうちの3科目に合格することで-halfコースの修了が認定され、6科目すべてに合格することでメインコースの修了が認定されるというコース設定である。授業内容の改善を図って提供科目の変更が予定されているが、2022年度も受講生を募集するので、ぜひ受講をご検討いただきたい。

授業科目提供のほかにも、enPiT ProSec関連イベントとして、講演会や講習会を開催してきた。2020年度には、暗号と認証についての研究の最新動向および、IoT時代の制御セキュリティについての講演会を開催し、本学学生だけでなく地域の企業の方々などに聴講していただいた。また、技術者向けの実践的な講習として、サイバー攻撃対応トレーニング

をオンラインで開催した。図4はこの講習会での様子である。今後もこうした講演会や講習会を開催する予定なので、奮ってご参加いただきたい。



図4. サイバー攻撃対応トレーニング

長崎県立大学では、2023年に情報セキュリティ産学共同研究センターが開設される予定である。企業との共同研究室や多目的スペースを備えた新棟を、現在建設中である。本学はこれからも学部、大学院、そして社会人のリカレント教育を通じ、情報セキュリティ人材の育成に取り組んでいく所存である。

5. 終わりに

今後も産官学の連携やOB・OGのネットワークを広げられるようハンズオン型の演習を中心に受講しやすい環境と価格を維持することで、九州・山口から日本全体をフェイルセーフで持続可能な環境に牽引する仲間を日本、世界、そして宇宙に生み出していきたいと考えている。

(今後の募集予定)

○九州大学

- ・募集期間：2021年11月～
2022年2月(1次募集)
- ・募集人数：ProSec-ITおよびSECKUN
各コース合計120名程度
- ・募集要項：ProSec-ITは、<https://cs.kyushu-u.ac.jp/enpit-pro/>に掲載中。
SECKUNは、別途募集します。
見学・相談受け付けます。
- ・問い合わせ先：prosec-it-staff@cs.kyushu-u.ac.jp
九大ProSec-IT事務局 藤岡

○長崎県立大学

- ・enPiT ProSecでは、以下のWebページに募集などの案内を掲載しています。
<https://sun.ac.jp/siebold/sec/enPiT-prosec/>

法人紹介

公益財団法人国際労務管理財団 (IPM) は、1993年に外国人研修生制度 (現・技能実習制度) が開始された時期に設立した団体監理型の技能実習生受入れをお手伝いする監理団体です。また、2019年4月に施行された新たな特定技能の制度における登録支援機関の業務も行っております。

当初中国から始まり、モンゴル、ベトナム、インドネシア、タイ、フィリピン、カンボジアそしてミャンマー等からの技能実習生を受け入れています。これまでの外国人受入れ累計は約1万人、2021年11月現在でのIPM監理・支援の外国人は、建設就労者および特定技能をあわせて約2,000人となります。

東京本部他全国7カ所の地方事務所を配置しており、九州地方に関しては福岡事務所と熊本事務所、そして2021年11月には長崎に駐在員事務所を新設しました。東アジアや東南アジアとの経済関係が歴史的にも強い九州の各自治体と海外との相互理解と連携強化に力を入れています。

団体の特長としては、以下4点あります。

- 地域および業種に縛りが無いこと
全職種中97.6%の職種の取り扱いが可能、そして日本全国どこでも受入れが可能です。
- 日本語教育への取り組み
六甲の研修センター、専門の日本語部署および教師で取り組みを重ねており、特に実践的な会話の部分に力を入れています。
- 外国人職員の在籍数
2021年11月現在で、職員93名のうち29名が外国籍です。母国語での対応が必須な本業界においては重要なことだと考えています。
- 設立からの経験値
1993年の設立以来28年間にわたり好事例を蓄積してきました。同時にさまざまなトラブル事例にも対処し、解決してまいりました。このノウハウがある意味で当財団にとって一番の財産といえます。

現在の課題は、関係する方々が制度に対する理解をさらに深めていただくことであり、これを分かりやすく推し進めていくことが、当財団の大切なミッションです。

最後に、当財団がスローガンとする『五方笑顔』について、海外人材、そのご家族、送出し機関、受入れ企業そしてIPMの5つの笑顔を目指し、突き詰めていくことで、明るい未来が待っていると信じています。

法人名	公益財団法人国際労務管理財団
創業	1993年3月
代表者	理事長 池田 英人
事業内容	(1)海外諸国における労働事情や企業の海外進出等に関する調査研究および支援等の国際交流事業 (2)海外諸国の青少年等の育成および親善交流等の海外諸国との人材交流事業 (3)技術・技能の修得を目的とする外国人技能実習生受入れ事業を行う実習実施機関の監理団体としての業務および無料職業紹介事業 (4)特定技能外国人受入れ事業を行う登録支援機関としての業務および職業紹介事業 (5)広報誌の発行等の広報活動 (6)その他この法人の目的達成に必要な事業
従業員数	93名 (2021年11月1日現在)
本部所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-6 新宿加藤ビルディング7階
電話番号	03-3354-4841
ホームページ	https://www.ipm.or.jp/

皆様はじめまして、公益財団法人国際労務管理財団の理事長池田英人と申します。

日本の総人口が減りつつある中、外国人の人口の割合が2019年1月に初めて2%台になりました。このようなグローバル時代に、来日した外国人の方々とその関係者に笑顔になっていただくことが、私たちの理念です。グローバル人材共生社会の実現に向けて、日本全国の地域に情報を発信していきます。



理事長 池田 英人



ベトナム・ハティン省との人材育成交流事業に係る連携協定調印式

アグリプロ株式会社

<2021年2月22日入会>

法人紹介

法人概要

法人名	アグリプロ株式会社
創業	2013年2月1日
代表者	代表取締役 松蔭 利幸
事業内容	米麦生産事業、農作業請負事業、施設園芸事業
従業員数	5名(パート・アルバイト10名)
本店所在地	〒824-0044 福岡県行橋市天生田473番地
電話番号	0930-28-9618
ホームページ	https://www.big-advance.site/s/160/1268

現在、当社では米麦生産事業を中心とし、主食米20ha、飼料米10ha、飼料稲12ha、飼料作物9ha、麦2ha、大豆2ha、菜の花2.5ha、総作付面積57.5haを営農しております。米麦以外にも農業請負事業においては、お客様のニーズに応じ、耕起作業、田植え作業、収穫作業や農業において最も重労働とも言える農薬散布を大規模圃場では無人ヘリ、小規模圃場ではドローンを使用し年間約300haを請け負っており、マルチな農業に対応しています。しかし全国的に農業人口の減少や高齢化が拡大し、追い打ちをかけるように農業機械や資材の高騰、米価低迷により離農者が増加しているのが現状です。

その中で当社は、持続性のある農業を目指し、米麦、請負に加え施設栽培にも取り組み始めました。施設には九州初の高度環境制御型ハウスと栽培管理システムを導入し、無農薬水耕栽培を2022年4月より稼働いたします。この施設導入により無農薬野菜を通年栽培することで、安全な野菜を安定供給することができ、現在ではアジアGAP認証取得(取得中)とSDGs達成に向け、農業を通じた食に対するスタッフの意識改革にも取り組んでいます。

今後、持続可能な農業を行うためには人材が必要不可欠です。対策として、定年退職者の雇用、農福連携による障害者の正規雇用、外国人研修生の受入れ等により人材不足を解消し、食に対する教育を徹底するなど、持続性のある農業を目指します。そして安全な農産物を皆様が安心して食していただけるよう継続してまいります。

当社は先代の農業を受け継ぎ、行橋にて営農しております。2013年に前職を退職し、個人農業を法人化いたしました。



代表取締役 松蔭 利幸

当社では前職の経験と知識を活かし、農業人口減少に対応した農業への取り組み、人材教育、スマート農業への移行、生産過程での見える化など強化し、少人数による大規模農業経営に取り組んでおります。食することの大事さ、質の良い農産物を安定供給できるよう皆様とともに貢献してまいります。



無農薬水耕栽培でのサラダホーレンソウ

法人紹介

株式会社日商保は「挑む企業に、新しい保証を。」をスローガンに、ファイナンスサービスによって企業の挑戦と成長を支援し、日本経済を活性化することをミッションとする企業です。企業がオフィス・店舗など事業用不動産を借りる際に預ける敷金(保証金)を削減し、資金を事業投資に活用できるようになる敷金減額サービス『敷金半額くん』の提供、オフィス・店舗など事業用不動産の賃貸仲介および売買仲介事業を展開しております。

『敷金半額くん』は、万が一、入居企業に倒産・破産などが生じた場合の賃料や原状回復費などの債務を弊社がオーナーに対して保証することにより、入居企業が預けなければならない敷金を半額から最大ゼロ円にできる弊社独自のサービスです。企業は入居・移転時の初期費用である敷金の金額を抑え、その資金を事業に活用することができます。また、オフィスや店舗を貸す側である不動産オーナー様にとって入居の阻害要因となる敷金をリスクなく下げられることから、物件への入居促進の手段としてオーナー様にも積極的に活用いただけるサービスです。2020年春からは物件の入居時だけでなく、入居中に預けている敷金を流動化できる敷金返還サービス『敷金返還くん』も新たに展開しています。

福岡における事業活動として、2018年に東京本社に次ぐ2番目の事業拠点として福岡営業所を開設いたしました。営業所の開設以来、福岡市における創業支援プロジェクトの立ち上げや地元の不動産会社様、金融機関様との業務提携などにも取り組み、九州で飛躍される多くの成長企業様にサービスを提供させていただいております。

2022年1月より福岡営業所を福岡支店に改組し、日商保はこれまで以上に福岡をはじめ九州の成長企業様、不動産オーナー様の挑戦をご支援し、事業成長に貢献してまいります。

法人名	株式会社日商保
創業	2011年9月16日
代表者	代表取締役社長 豊岡 順也
事業内容	オフィス・店舗等事業用不動産の敷金減額サービス『敷金半額くん』の提供、オフィス・店舗等事業用不動産の賃貸仲介および売買仲介サービス
従業員数	20名
本社所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目7番2号 虎の門高木ビル3階
電話番号	03-6206-1669
ホームページ	https://jpcpg.co.jp/

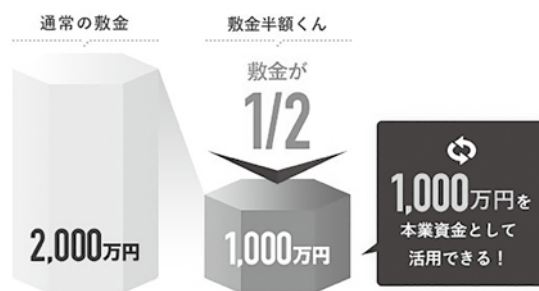
法人概要

日商保は2018年に福岡に営業所を開設し、三好不動産様、第一交通産業グループ様、西日本シティ銀行様といった多くの企業様とご連携させていただきながら、敷金減額サービス『敷金半額くん』を中心に事業を展開してまいりました。弊社サービスは、オフィスや店舗の借り手となる事業者様、貸し手である不動産オーナー様の両方のお役に立てる三方良しのサービスです。



代表取締役社長 豊岡 順也

2022年1月より、営業所は福岡支店に昇格いたしました。これまで以上に福岡をはじめとする九州の皆様企業の成長のお役に立てるよう、取り組んでまいります。



(例) 敷金が2,000万円の場合

オフィス・店舗の敷金減額サービス『敷金半額くん』ご利用イメージ

沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)



ミス沖縄
クリーングリーングレイシヤス
新里瑞紀

皆さま、はいたい！クリーングリーングレイシヤスの新里瑞紀です。
あけましておめでとうございます。お正月はいかがでしたか？沖縄では良いお正月のことを「いいしょうぐわちでーびる」と言います。皆さまの地域にも「良い正月だった」ことを表す方言はありますでしょうか。

さて、今月は沖縄本島中部沖縄市にある「沖縄こどもの国」をご紹介します。
日々、YouTubeやFacebook、Instagramを通して、沖縄の魅力をお届けしております。ぜひチャンネル登録&いいねをお願いします！



■「ミス沖縄公式YouTubeチャンネル」はこちら<https://bit.ly/2Fa1tIW>

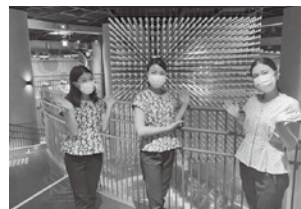
新型コロナウイルス感染予防・拡散防止に取り組んでいます！

～沖縄こどもの国～ (沖縄県沖縄市胡屋5-7-1)

沖縄こどもの国の施設には、動物園とワンダーミュージアムがあります。動物園には、哺乳類、鳥類、魚類、爬虫類など約200種類の動物が生息し、日本や世界の動物をはじめ、琉球弧に生息する珍しい動物たちを見ることができます。世界でも珍しいホワイトライオンは迫力がありかつよく、昨年夏に誕生したヤクシマザルの赤ちゃんの可愛くて元気な姿は、とても愛らしくて癒やされます。多彩な動物たちを間近に見ることで、生命の尊さや素晴らしさを実感することができますよ。

また、ワンダーミュージアムでは、「理解と創造は驚きに始まる」というコンセプトのもと、子どもたちの可能性を信じ、子どもたち自身が自ら不思議や驚きを見つけることができる、沖縄初・沖縄唯一のチルドレンズミュージアムとなっています。施設内のがんまり研究室では作品を考えることができ、子どもたちが出したアイデアを実現し、作品として展示しています。このように、子どもたちの感性や知恵を刺激する体験ワークショップがいくつもあり、子どもだけでなく大人も楽しむことができる施設となっています。

私たちミス沖縄のYouTubeでは、沖縄こどもの国の「動物園」と「ワンダーミュージアム」の魅力をお届けしていますので、ぜひご覧ください。そして、ご家族で沖縄に旅行に来られた際には、ぜひ沖縄こどもの国にお立ち寄りくださいね♪



【今月のおススメ】ホエールウォッチング

沖縄では12月下旬から4月上旬ごろまで、ホエールウォッチングを楽しむことができます。夏場は北の湖で栄養を蓄え、繁殖期の冬場になると暖かい沖縄に、ザトウクジラがやって来ます。冬の沖縄観光として人気が高く、ご家族や友人同士でお楽しみいただけます。オキナワンプルーの綺麗な海とザトウクジラの圧巻の姿に、感動すること間違いなし！冬の沖縄を訪れてみてはいかがでしょうか。



ミス沖縄紹介Webページ <https://www.ocvb.or.jp/activities/missOkinawa> も併せてご覧ください。



皆さまへ沖縄の魅力をお届けいたします。



九州観光推進機構 ニュース

第1回観光地域づくり法人九州連携会議を開催しました

九州観光広報センターにおいて、九州運輸局との共催により、「観光地域づくり法人九州連携会議」を開催いたしました。

九州内の観光地域づくり法人のうち、13団体のご担当者に参加いただき、各地域の取り組みや課題について意見交換を行いました。

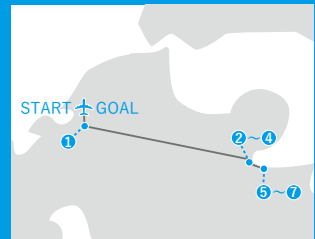
今後も定期的に会議を開催し、各法人の連携を図ってまいります。



九州観光ポータルサイト「九州旅ネット」で
旅行者に人気のモデルコースをご紹介します！

⑦ 福岡・別府・大分ゆったり&くつろぎ満喫コース

このコースのエリア 福岡県 大分県	日数 1泊2日
おすすめシーズン 春 夏 秋 冬	一人旅/家族旅行



別府というと温泉の多い大分県でも有数の温泉地ですが、温泉以外にも別府には魅力的な観光スポットがたくさんあります。神楽女湖には鶴鴿などの野鳥が生息しており、花菖蒲の名所として知られています。また、十字原展望台からは、美しい自然と町並みを一望でき圧巻です。温泉だけでなく自然も芸術も楽しめるコースです。

START 1日目 福岡市内

▼ 車で約40分 ▼

① 太宰府天満宮

10:00 太宰府天満宮は、菅原道真(すがわらのみちざね)公の御墓所(ごぼしよ)の上にご社殿を造営し、その御神霊(おみたま)を永久にお祀りしている神社です。「学問・至誠・厄除けの神様」として、日本全国はもとより広く世のご崇敬を集め、年間に約1,000万人の参拝者が訪れています。



▼ 車で約2時間 ▼

② 鉄輪温泉(鉄輪むし湯)

13:00 鉄輪温泉は、大分県別府市にある温泉で、別府八湯の一つです。温泉の湧出量では日本最大である別府の源泉の大半が鉄輪に集中。鉄輪むし湯は、約8畳ほどの石室の中に石菘(せきしょう)という薬草が敷きつめられており、薬草の香りに包まれながら蒸し風呂を体験できます。湯治場の面影を濃く残し、レトロな町並みと別府地獄めぐりの多くが鉄輪温泉にあります。くつろぎのひとつきを過ごしてみたいかでしょうか。



▼ 車で約5分 ▼

③ 別府地獄めぐり

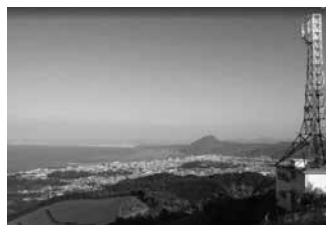
14:15 別府地獄めぐりは、大分県別府市の別府温泉に多数存在するさまざまな奇観を呈する自然湧出の源泉「地獄」。海地獄、血の池地獄、白池地獄、龍巻地獄は、2009年7月23日に別府の地獄として国の名勝に指定されました。自然が創り出す地形をご堪能ください。



▼ 車で約15分 ▼

④ 別府公園

15:15 JR九州別府駅の西北西約700mの別府市中心部にあるほぼ正方形の広大な都市公園で、別府市民の憩いの場となっています。別府市内を一望できるとともに、木々や池もあり、散歩コースとしてもおすすめです。



START 2日目 別府市内

▼ 車で約10分 ▼

⑤ 高崎山自然動物園

10:00 大分市の北西部、標高628mの高崎山には、現在約1,000頭のニホンザルが二つの群れに分かれて生活しており、毎日サル寄場に現れます。数百頭の大群が山から降りてくる様子や引き上げる様子は壮観で、他の動物園では見ることはできません。



▼ 徒歩約5分 ▼

⑥ 大分マリンパレス水族館「うみたまご」

13:00 大分市と別府市の間地点、田ノ浦ビーチからほど近くにある大分マリンパレス水族館「うみたまご」。別府湾の景観と一体化したような近代的な建物が目印です。半開放型の館内は、2階建ての屋内と、広く開放的な屋外からなっています。屋内オーシャンゾーンの大回遊水槽では、県南リアス式海岸を再現した疑岩の周りを豊後水道の魚約90種1,500尾が泳いでおり、魚たちの迫力ある動きを間近に見ることができます。



▼ 車で約20分 ▼

⑦ 大分県立美術館

15:00 「五感のミュージアム」「出会いのミュージアム」がコンセプトの美術館。世界的建築家坂茂氏設計の建物も見どころの一つ。見学の後はMuseum Shopでオリジナルグッズを買い求めるもよし、カフェの地産地消メニューを楽しむもよし。ゆったりと贅沢な時間をお過ごしください。



▼ 車で約2時間 ▼

GOAL 福岡市内

九州観光推進機構のホームページ <https://www.welcomekyushu.jp> 「九州旅ネット」も併せてご覧ください。

【本件問い合わせ先】(一社)九州観光推進機構 (TEL: 092-751-2951)

地域 動向

九州・山口

山口 Yamaguchi



「おいでませ山口！UJIターン就職説明会」を開催

山口県内へのUJIターンをお考えの求職中の方や、県外に進学した本県出身の学生を対象に、県内企業の魅力を発信する「おいでませ山口！UJIターン就職説明会」を開催する。

説明会には、約20社の県内企業が参加予定で、参加企業の担当者との個別ブースでの面談により、山口県内への就職を考える機会と出会いの場を提供する。

また、移住相談や公務員志望者相談などの各種相談コーナーも設ける。各相談コーナーで担当者と直接話をするすることで、UJIターン就職に対する疑問や不安を解消することができる。

この機会に、ぜひ、県内企業の魅力を知っていただきたい。

《大阪会場》

日時：2月6日(日) 13時30分～16時
場所：AP大阪茶屋町
(大阪府大阪市北区茶屋町1-27)

《東京会場》

日時：2月23日(水・祝) 13時30分～16時
場所：AP東京八重洲
(東京都中央区京橋1丁目10-7)

《問い合わせ先》

山口しごとセンター TEL：083-976-1145

検索

※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント内容等が変更になる場合がある。最新情報については、山口しごとセンターのウェブページにてご確認いただきたい。



福岡 Fukuoka



ANAホールディングスと包括提携協定を締結！

福岡県では、新たな公的サービスの担い手と期待されるNPOや企業など多様な主体が互いに協力し、ともに支え合う共助社会づくりを進めている。

こうした共助社会の実現に向け、ANAホールディ

ングス株式会社と社会貢献に関する包括提携協定を締結した。

この協定は、観光振興や人材育成などの8分野が盛り込まれており、具体的には、ANA広報媒体を活用した観光情報の発信、子どもたちが航空業界の仕事を学ぶ航空教室の実施、宇宙ビジネスにおけるANAと県内企業・大学等とのビジネスマッチングなどの取り組みを進めていく。両者が相互に連携を図り、双方の保有する資源を有効に活用した協働による活動を推進する。



締結式の様子

《問い合わせ先》

福岡県社会活動推進課 TEL：092-643-3380



佐賀 Saga



幸せなスタートをみんなで応援 スペシャルムービー公開！

佐賀県では、「佐賀で子育てがしたい！」と思えるような環境を整えるため、2015年から「子育てし大県“さが”」プロジェクトを展開している。

その一環として、結婚や家族の良さを伝え、県内で暮らす幸せな家族を増やしたい、佐賀で暮らすすべての人々の幸せを応援したいという思いを込めて、2021年11月22日の「いい夫婦の日」にスペシャルムービーを公開した。

結婚はゴールではなく新しい家族としてのスタート。幸せにはさまざまなカタチがあることを感じていただける内容となっている。

動画には、車椅子ユーザーのご家族、育児休暇から職場復帰した女性、同性カップルなど、多くの県民の皆さんや、山口祥義佐賀県知事が出演。県内各地がロケ地になっており、佐賀の風景の美しさも伝わってくる。

また、動画公開にあわせて、県内の皆さんから寄せられたウェディングエピソードを、佐賀県出身のイラストレーターおほしんたろう氏がイラストにして、抽選でプレゼントする企画も実施中。

県ではこれからも、出会い・結婚から、妊娠・出産、子育てまで、各ライフステージに応じて切れ目のない支援を行い、「佐賀に住んでよかった」「佐賀に住みたい」と思っただけのような取り組んでいく。



《問い合わせ先》

佐賀県子ども未来課
TEL：0952-25-7381

検索





「令和3年県民表彰式」開催

11月23日、長崎県の発展に貢献された方々をたたえるため「令和3年県民表彰式」を開催した。

本県では、1970年から地方自治の振興および産業、文化、教育などの分野で顕著な功績があった方を対象として県民表彰を行っている。

第52回目の開催となった今回の県民表彰式では、個人114名と19団体の計133名を表彰。地方自治や社会福祉、産業、教育などで顕著な功績があった方々のほか、芸術・文化・技能・スポーツ分野の全国または世界的な大会などで活躍された方々には「県民表彰特別賞」を贈呈した。また、東京2020オリンピックソフトボール競技で金メダルを獲得した藤田倭選手、同パラリンピック車いすバスケットボール競技男子において銀メダルを獲得した鳥海連志選手、川原凜選手には「県民表彰特別栄光賞」を贈呈した。

なお、リオデジャネイロオリンピックでの銅メダルに続き東京2020オリンピック柔道競技男子81kg級で金メダルを獲得した永瀬貴規選手には10月5日に「県民栄誉賞」を贈呈している。



特別栄光賞を受賞した藤田選手

《問い合わせ先》

長崎県秘書課

TEL : 095-895-2015

長崎県 県民表彰

検索

ぜひこの機会に、観て、食べて、創造的復興が進む熊本県上益城地域の魅力に触れていただきたい。

■オンライン観光物産展「上益城ダヨ全員集合！」特設サイト

<https://kikaku-ari.com/kamimashiki/>

《問い合わせ先》

上益城地域観光推進協議会
(事務局：熊本県上益城地域
振興局総務振興課)

TEL : 096-282-3044



宇宙先端技術への挑戦

～アジア初の水平型宇宙港の地から～

大分県は米ヴァージンオービット社と提携し、早ければ2022年に大分空港から人工衛星の打ち上げを目指している。2020年9月には、内閣府と経済産業省から『宇宙ビジネス創出推進自治体』に選定され、宇宙産業の一大拠点化、新産業創出への期待が高まっている。

今年2月26日～3月4日、別府市で国内最大の宇宙国際会議「宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)」が開催される。26・27日には開幕イベント「おおいたそらはく」が行われ、JAXAの現役宇宙飛行士による基調講演や衛星データ活用実証事業の発表、宇宙飛行士の山崎直子さんを交えた座談会やスペースポート関連の講演会などを予定している。子ども向けVRコーナーやサイエンスショーも開催し、幅広い世代が楽しめる企画を準備する。また、別府市に隣接する大分市にある大分県立美術館(OPAM)では、「人類の宇宙への挑戦」と題した宇宙関連展示や「庵野秀明展」が開催され、おおいたそらはく会場との間に無料シャトルバスを運行する。

大分県では「先端技術への挑戦」を掲げ、先端技術を活用した産業振興や人材の育成に取り組んでおり、ISTS大分別府大会の開催を契機に、県民の宇宙科学技術への興味・関心の高まりや県内企業の宇宙関連産業への挑戦、宇宙を志す人材の育成、宇宙への挑戦に積極的な全国の関係者との連携につなげていきたいと考えている。

《問い合わせ先》

大分県先端技術挑戦課

TEL : 097-506-2947

<https://ists.pref.oita.jp/>



オンライン観光物産展 「上益城ダヨ全員集合！」開催

熊本地震から5年8カ月。これまでの支援への感謝の気持ちと、復興が進む上益城地域の元気を伝えるため、昨年12月15日(水)から、オンライン観光物産展「上益城ダヨ全員集合！」を開催中(2月28日(月)まで)。

特設サイト(下記URL参照)では、熊本県上益城地域(御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町)のPR動画やパンフレットなどの観光情報を発信するほか、特産品の通信販売等を行っている。

また期間中、特設サイトに来店している事業者から2,000円以上購入した方に抽選で上益城地域の特産品(10,000円相当)が当たるキャンペーンや、上益城地域の観光施設や風景等を撮影して投稿した方に抽選で5,000円相当の上益城セレクトが当たるインスタグラムハッシュタグキャンペーンを実施している。



「みやざき犬」発見10周年！

2021年11月11日、「みやざき犬」発見から10周年を迎えた。

みやざき犬とは、3匹それぞれが日向夏、県の木フェニックス、地鶏のかぶりものをした「ひい」くん、「むう」ちゃん、「かあ」くんからなる宮崎県シンボルキャラクターである。

広く県民に親しまれ、県内外において本県の魅力をPRするとともに、県政情報などをわかりやすく紹介してきた3匹。10周年を迎えるにあたり、県の施策を推進する上で顕著な功績があったため、「宮崎県民栄誉賞」のキャラクター部門として新たに創設した「みやざき犬民栄誉賞」を授与された。表彰されたみやざき犬は、「みんなにたくさん笑顔をとどけるワンッ！」とコメント。これからも県内外での活躍を期待したい。

また、県が募集した中から、高校生の作品を発見10周年記念ロゴマークとして決定した。10周年ということが一目でわかり、「10」はブーゲンビリアの色で表現、魅力発見の意味を込めて虫眼鏡の形にし、「0」から県の地図が見えるデザインとなっている。今後は、県内外でみやざき犬が出演する場面で大々的にPRに使用していく。

そして、11月14日に開催された10周年記念イベントでは、新曲「キラキラッ！」を披露。楽曲に乗せて、「ゆるキャラダンス選手権」を2連覇した実力を持つダンスで会場を大いに盛り上げてくれた。

県では、引き続き発見10周年を活用したプロモーションにより、みやざき犬がさらに県民に親しまれるとともに、本県の認知度・魅力度の向上につながるよう取り組んでいく。



みやざき犬と河野俊嗣知事

《問い合わせ先》

宮崎県オールみやざき営業課
TEL：0985-26-7591



「6次化じはんき」登場！

鹿児島県では、農林漁業者が生産だけでなく加工・販売まで行う6次産業化の推進に取り組んでおり、その一環として、2021年11月、JR鹿児島中央駅と鹿児島空港に、県内各地の6次産業化商品を並べた自動販売機「鹿児島県6次化じはんき」を設置した。

設置期間は、2022年3月21日までで、県産の野菜や果物を使用したジャムや漬物、県大隅加工技術研究センターの技術指導等により開発したフリーズドライ食品など、約30種類の商品を購入できる。県として

は、食品用自動販売機の設置という話題性から、県内の6次産業化商品の認知度向上にも期待している。

商品に貼付しているQRコードを読み取りアンケートに答えると、抽選で鹿児島の特産品等がもう一品当たる「鹿児島県の逸品プレゼントキャンペーン」も実施している。

旅行や出張の際のお土産として、または自家用として、近くに寄った際にはぜひご購入いただき、鹿児島県の農林水産物の新たな魅力を発見していただきたい。

《問い合わせ先》

鹿児島県農政課かごしまの食ブランド推進室
TEL：099-286-3179



6次化じはんき(鹿児島空港)



販売商品



サッカー・プロ野球キャンプの実施に向けて

沖縄は年間を通して温暖な気候であることから、1月はサッカークラブ、2月はプロ野球球団など、毎年多くのスポーツキャンプでにぎわっている。昨春のサッカーは、Jリーグ、なでしこリーグ、大学チームなどさまざまなカテゴリーの計26クラブ、プロ野球は国内9球団がキャンプを実施した。

好きなチームや多くの選手を間近で見ることができるとあって、毎年、県民のみならず、県外からも多くの観光客にお越しいただいているが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、沖縄県独自の緊急事態宣言が発出されたことから無観客開催となった。

今年度は、キャンプ実施に向けて、安全・安心にキャンプを皆様にもお楽しみいただけるよう受入市町村と連携して取り組んでいる。キャンプ地にお越しいただく際には、マスク着用等基本的な感染防止対策へ協力いただきたい。

キャンプ期間中は、会場内において受入市町村の特産品や球団との限定コラボレーショングッズの販売、沖縄県内の観光地巡りや沖縄料理等もお楽しみいただける。1～2月の沖縄サッカー・プロ野球キャンプへぜひお越しを。

※新型コロナウイルス感染状況により、無観客開催となる場合等、最新の情報については各クラブ・球団HPを参照。

《問い合わせ先》

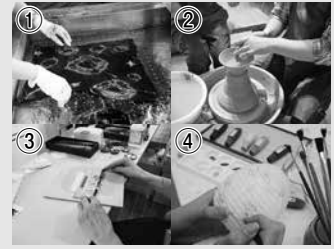
沖縄県スポーツ振興課
TEL：098-866-2708



Sports Islands
OKINAWA

福岡県の伝統的工芸品を手作り体験！ (福岡県)

本県には、陶磁器や織物等さまざまな伝統的工芸品があります。
実際に手作り体験ができる工房等で、伝統の技に触れてみませんか。



<p>① 「久留米かすり藍染体験」</p> <p>久留米かすりの技法や歴史の解説と共に工房を案内します。板締めや絞りなどの防染技術を教わりながら、世界に一つだけの藍染作品を作ることができます。</p> <p>《問い合わせ先》 久留米かすり池田絣工房 H P : https://ikedakasuri.jp/ TEL : 0942-53-2416</p>	<p>② 「小石原焼・高取焼陶芸体験」</p> <p>小石原焼伝統産業会館では、小石原焼・高取焼の代表作や小石原焼の歴史を学ぶことができ、初心者でも気軽に陶芸体験が楽しめます。</p> <p>《問い合わせ先》 小石原焼陶器協同組合 H P : https://densan2266part1.jimdofree.com/ TEL : 0946-74-2266</p>
<p>③ 「金箔小物(お箸・ブローチ)づくり体験」</p> <p>八女福島仏壇の製造工程にもある金箔押しで、自由にお箸や漆のブローチをデザイン。自分だけの金箔小物が作れます。</p> <p>《問い合わせ先》 漆工房 岩弥 近松仏壇店 H P : https://www.urushikoubou-iwaya.jp/ TEL : 0943-22-5800</p>	<p>④ 「八女提灯絵付け体験」</p> <p>伝統を継承しつつ、新しい形の提灯づくりにも力を入れています。八女提灯の絵付けを体験できるワークショップを毎月開催しています。</p> <p>《問い合わせ先》 (有)シラキ工芸 H P : https://www.chouchin.com/ TEL : 0943-24-3054</p>

(※全て要予約)

スケジュール(1月)

日(曜)	会合名等
4日(火)	事務局仕事始め
19日(水)	行財政委員会第6回自立型広域経済圏モデル検討WG(福岡市・九経連)※Web併催 九州女性の会1月例会(福岡市・九経連)
20日(木)	資源エネルギー・環境委員会第2回E S G推進WG(福岡市・電気ビル共創館)
21日(金)	ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会第4回企画部会/第3回九州企業GGI検討WG(福岡市・九経連)※Web併催
24日(月)	資源エネルギー・環境委員会企画部会(福岡市・電気ビル共創館)
26日(水)	長崎地域委員会(長崎市・ヒルトン長崎)

今年も本会では、新型コロナウイルス感染症対策に留意し、諸事業を進めてまいります。
皆様方のご理解、ご支援のほどお願い申し上げます。

◆九経連ホームページ <https://www.kyukeiren.or.jp>

◆九経連メールアドレス info@kyukeiren.or.jp

月報・ホームページをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。